

## 学校から帰って（秋）

学校から帰っても、大抵の友人の家には、年寄り以外留守をしている親たちは、家に居ない。

機場は孫が出来るまで、主婦の仕事場であつたし、男は畑仕事や田んぼの見回りで多忙である。

学校から帰っても、「おやつ」の置いてある家は少ない、あつても秋は薩摩芋の冷たくなつたものか、せいぜい「かきもち」が待っているだけだ。

早速、家の中にカバンを投げつけて、近くにある広場に急ぐ。

最近、自転車の「三角乗り」ができる様になつた、ぼうずは、父の居ない隙に、自転車を、持ち出して、練習に励む。

もう一組の四人は「まっちゃん」に大声を挙げながら、一生懸命である。

最近、裏に油を塗ると、滑り良くなるので中々負けない。「どんぎり」の風を利用すると負けないのも、流行しだした。相変わらず、勉強は苦手だ。



五寸釘の先を「すかさか」に研いでする、陣取り遊びは面白い。勉強もしないで、五寸釘を研いでいて、砥石をだめにしてしまった。仕方が無いので、グラインダにかけて貰ったら、凄まじく旨くなった。「陣取りの王様」は「うらが福嶋一番だ」

